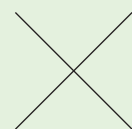


高校生



地球惑星科学

一緒に地球惑星科学の未来をつくりませんか？

「未踏の地へ—地球惑星科学の挑戦」



白井寛裕
JAXA宇宙科学研究所 教授

火星の水と表層環境の進化史

かつて海が存在し地球と似通った環境であった火星。本講座では、その火星がどのようにして現在のような乾燥・寒冷化した惑星となったのか、そして研究者たちは火星の環境進化の過程をどのようにして読み解いてきたのか、について解説する。

プロフィール

岡山大学大学院 自然科学研究科 地球・環境システム科学専攻 博士後期課程 修了。テネシー州立大学 研究員、NASAジョンソン宇宙センター 研究員、東京工業大学 助教/特任准教授を経て2018年より現職。博士(学術)



高野淑識
海洋研究開発機構 生物地球化学研究分野 主任研究員

始原的な気体「メタン」と地球生命科学の未来

水をたたえる青い地球。大海原、そして、太陽光の届かない暗黒の深海と海底下。人類未踏の地に、果たして生命圏(ハビタット)は存在するのか。始原的な気体「メタン」を観ながら、地球を旅してみよう。

プロフィール

筑波大学第一学群自然科学類化学専攻卒業、横浜国立大学大学院工学研究科物質工学専攻博士課程修了。産業技術総合研究所、海洋研究開発機構 地球内部変動センター研究員などを経て、現職。東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 准教授(兼任)。博士(工学)。

2018年 **12/27** 木 13:00 ~ 16:00

東京大学本郷キャンパス 理学部1号館2階 小柴ホール

参加費：無料 対象：高校生 ※中学生も参加可能 定員：170名(事前申込制・先着順)

お申込みはこちらをご覧ください。 <http://www.jpgu.org/public/20181227/>

